

無線機見守りシステム

知らせてける



ver.1.0

株式会社ミナミ

1.本製品の紹介

本製品の用途と機能

本製品は、福祉施設や在宅介護の現場において、利用者の異変や行動を迅速に検知し、スタッフやご家族に特定小電力トランシーバーを介して音声で通知することを目的とした見守り支援装置です。

人感センサ、ドア開閉センサ、センサマット等と連携し、簡単な操作で即時に情報を共有できる仕組みを備えております。導入にあたり、正しく安全にお使いいただくために、本書をよくお読みいただき、内容をご理解のうえご使用くださいますようお願いいたします。

ご注意

- 本製品は日本国内のみ使用可能です。海外での使用はできませんのでご注意ください。
- 本取り扱い説明書に記載の内容は、予告なく変更される場合があります。
- 本製品の仕様は、予告なく変更させる場合があります。

2.本製品の構成



- 基地局 × 1
- 基地局用アンテナ × 1
- 専用ACアダプター × 1
- 取り扱い説明書 × 1
- 設定用SDカード × 1
- トランシーバー接続用ケーブル × 1
- 各種センサ（同梱の場合）
- トランシーバー（別途ご購入）

3.安全上のご注意

△火災・感電・故障を防ぐために

- ・本製品を水のかかる場所や湿度の高い場所（浴室・洗面所・屋外など）で使用しないでください。
- ・直射日光の当たる場所、高温になる場所（ストーブの近く、車内など）での使用・保管は避けてください。
- ・濡れた手でACアダプターや接続端子部に触れないでください。感電のおそれがあります。
- ・電源ケーブルを無理に曲げたり引っ張ったりしないでください。破損により火災・感電の原因となります。
- ・本体やトランシーバーとの接続ケーブルに強い力や重さを加えないでください。
- ・異臭・煙・異常な発熱がある場合は、すぐに使用を中止し電源を切ってください。

✂分解・改造に関して

- ・本製品を分解・改造しないでください。故障や火災の原因となるだけでなく、保証対象外となります。
- ・ソフトウェアやファームウェアの書き換えは、メーカーが提供する正式な方法以外では行わないでください。

◆ 使用中の事故防止

- ・設置時は安定した平らな場所に固定してください。
- ・配線コードは通行の妨げにならないよう整理し、つまずきや引っかかりを防止してください。
- ・小さなお子様やペットが触れないよう配慮してください。

⚡ 医療機器等への影響

- ・本製品は、各種センサからの通知信号を特定小電力無線（920MHz帯）により送信する無線通信機器です。
一部の医療機器（心臓ペースメーカー、植込み型除細動器、補聴器等）は、強い無線電波の影響を受ける場合があります。
- ・特にペースメーカーやICD（植込み型除細動器）をご使用の方が近くにいる場合は、次の点にご注意ください。
 - ・製品本体および無線モジュールから20cm以上の距離を常に保ってください。
 - ・胸部に近づけての持ち運びや設置は避けてください。
 - ・ご使用者が電波干渉による体調不良（動悸・めまいなど）を感じた場合は、ただちに使用を中止してください。
- ・医療機器と同じ空間で本製品を設置・使用する場合は、事前に医師または医療機器メーカーへご相談ください。
- ・本製品が発する無線電波は法令で定められた範囲内（特定小電力無線）ですが、万一の誤動作を避けるために慎重な設置と運用をお願い申し上げます。

🔌 ACアダプターの使用に関する注意

- ・付属のACアダプターは「知らせてけろ」専用です。他の機器に使用しないでください。
- ・本製品および付属のACアダプターは、日本国内のAC100V（50/60Hz）専用です。
- ・海外での使用や変圧器を通じた運用は推奨いたしません。製品保証の対象外となります。
- ・他機器のACアダプターを本製品に使用しないでください。定格電圧・電流・極性の不一致により故障・発火の原因になります。
- ・延長コードやタコ足配線での使用は避けてください。
- ・アダプターのコードを束ねたまま使用したり、家具の下敷きにしないでください。
- ・使用中に異常な発熱・焦げ臭いにおい・煙が出た場合は、すぐに電源を切って使用を中止してください。

4.主な機能

4.1基地局の機能

①音声による通知機能

- ・通知用音声ファイル（wav形式）をSDカードに保存して再生します。
- ・初期設定の音声のほか、ユーザーが登録したカスタム音声も再生可能です。

②センサごとの音声ファイル紐づけ設定

- ・センサごとに再生する音声ファイルを設定ファイルとしてSDカード内に保存し、通知内容を個別に設定できます。

③センサのバッテリー電圧監視機能

- ・センサからの信号受信時にバッテリー電圧を読み取り、残量が少ない場合には通知します。

④広範囲通信対応

- ・センサと基地局間の通信は見通し距離で50m以上に対応しており、中継機を追加することで通信距離をさらに拡張可能です。

⑤最大25台のセンサ登録機能

- ・最大25台までのセンサを登録でき、任意の組み合わせによる運用が可能です。

⑥外部通信のモニタ機能

- ・基地局に搭載されたスピーカーにより、他者による通信音声をモニタすることができます。

⑦手動発話機能

- ・通知音以外にも、利用者が手動で音声を発話することが可能です。

⑧2.8インチ液晶ディスプレイ搭載

- ・センサからの受信情報を、対応する画像とともに液晶画面に表示できます。

⑨無線機電源監視機能

- ・基地局に接続された無線機の電源状態を監視し、電源が遮断された場合にはスピーカーから音声で警告します。

⑩自動継ぎ足し充電対応機能

継ぎ足し充電ができない無線機用充電器に対応するため、基地局は充電器の電源を定期的にOFF／ON制御することで適切な充電を維持します。

⑪基地局の単独使用機能

本製品は、特定小電力無線機を接続しない場合でも、基地局とセンサのみで運用することが可能です。音声や画面表示による通知機能はそのままご利用いただけます。

4.2 センサの機能

① 感知LED表示機能

- ・ センサが人や動作を感知した際に、LEDを点灯させて状態を視覚的に示します。

② 感知LED ON/OFF制御機能

- ・ 感知時にLEDが点灯しないよう制御することが可能です。これにより、LED点灯を抑制したい環境下での運用が可能となります。

③ バッテリー残量通知機能

- ・ バッテリー電圧が一定以下を下回った際、自動的に基地局へ通知し、電池交換のタイミングを把握できます。

④ 送信チャンネル切替機能

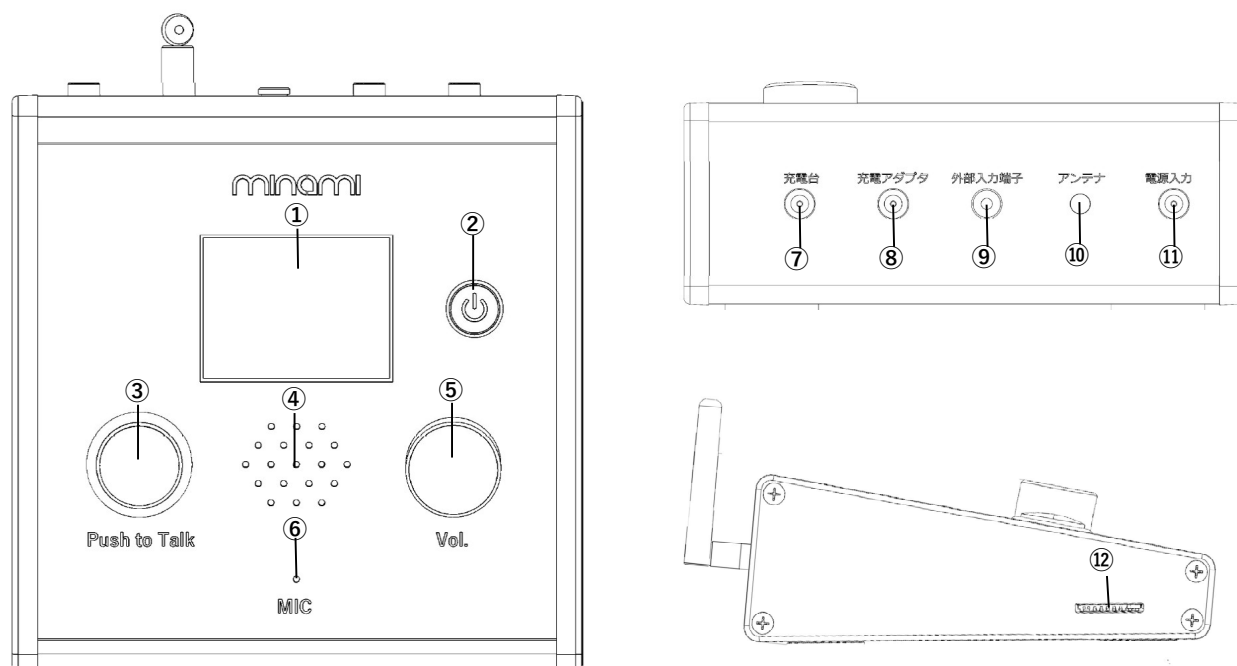
- ・ センサの送信チャンネルを変更することで、他のデバイスとの干渉回避や複数台構成時のチャンネル分離が可能です。

⑤ 感知論理切替機能（※ドアセンサ・センサマット対象）

- ・ センサがON（通電）した時に基地局へ信号を送信するか、またはOFF（非通電）時に送信するかを選択設定できます。

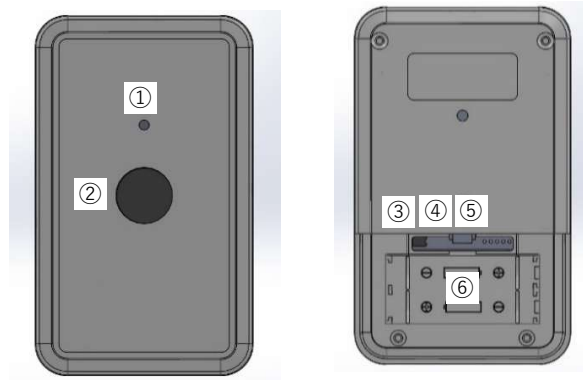
5.各部の名称と機能

①基地局



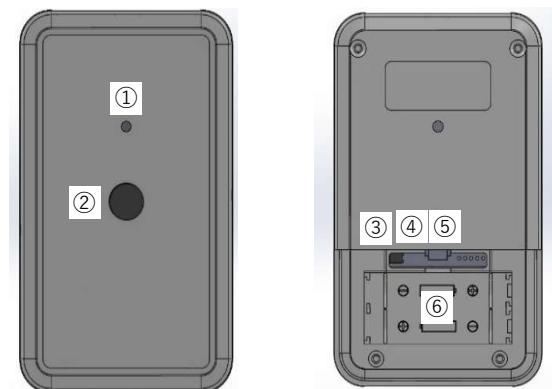
名称	説明
①液晶ディスプレイ	センサーの検知情報・警告画像・メンテナンスモードの画面表示に使用します。
②電源スイッチ	ボタンを押すと本体の電源が入り、青色に点灯します。
③プッシュトークボタン	ボタンを押しながら話すことで、他の人と通話できます（トランシーバー接続時）。
④スピーカ	センサーの通知音や通話音声を聞くことができます。
⑤ボリューム	センサー音や通話音の音量を調整します。
⑥マイク	プッシュトークボタンを押したときに、音声を収音します。
⑦トランシーバー充電台接続	トランシーバーの充電台と本体を接続します。
⑧トランシーバー充電器接続	トランシーバーの充電アダプターと本体を接続します。
⑨外部入力単端子	トランシーバーのイヤホンマイク端子に本体を接続します。
⑩アンテナ	無線通信のためのアンテナを接続します。
⑪電源入力	専用ACアダプターを接続する本体側の電源端子です。
⑫SDカードスロット	設定ファイルなどを保存したSDカードを挿入するスロットです。

②押しボタンスイッチ



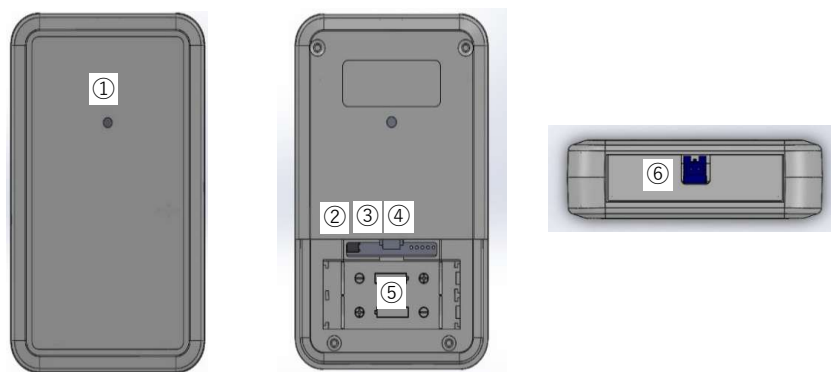
番号	名称	機能及び用途
①	感知LED	センサが感知した時に点灯
②	押しボタンスイッチ	押す事により親機に感知情報を送信
③	ペアリングスイッチ	基地局に紐づけを行う
④	ステータスLED	無線モジュールの動作状態を表示
⑤	設定スイッチ	送信チャンネル、感知LED点灯設定
⑥	電池挿入口	単4形アルカリ乾電池×2本使用

③人感センサ



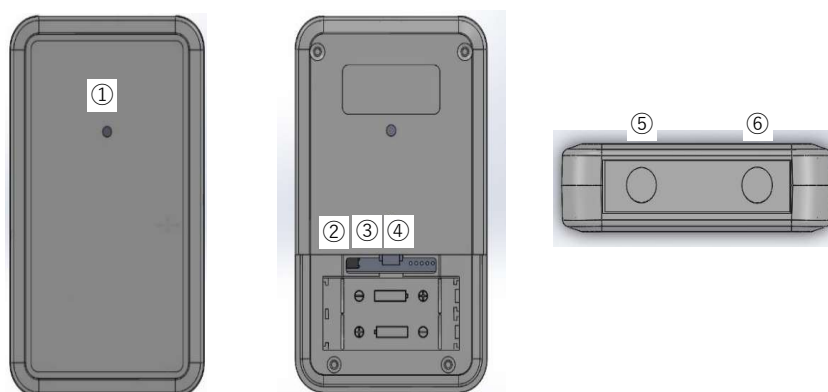
番号	名称	機能及び用途
①	感知LED	センサが感知した時に点灯
②	人感センサ	人の動きを感知する
③	ペアリングスイッチ	基地局に紐づけを行う
④	ステータスLED	無線モジュールの動作状態を表示
⑤	設定スイッチ	送信チャンネル、感知LED点灯設定
⑥	電池挿入口	単4形アルカリ乾電池×2本使用

④ ドアセンサ・センサマット・見守りカメラ



番号	名称	機能及び用途
①	感知LED	センサが感知した時に点灯
②	ペアリングスイッチ	基地局に紐づけを行う
③	ステータスLED	無線モジュールの動作状態を表示
④	設定スイッチ	送信チャンネル、感知LED点灯設定など
⑤	電池挿入口	単4形アルカリ乾電池×2本使用
⑥	外部センサー接続口	各種外部センサを接続する

⑤ 中継器



番号	名称	機能及び用途
①	ステータスLED	2秒おきに点滅
②	ペアリングスイッチ	基地局に紐づけを行う
③	ステータスLED	無線モジュールの動作状態を表示
④	設定スイッチ	送信チャンネル
⑤	アンテナ接続端子	外部アンテナを接続
⑥	電源入力	ACアダプタを接続 ※電池を装着しても動作しません。

6.使用方法

以下に、使用開始までの基本的な流れを説明します。

6.1 使用準備

1.本体の設置

- ・安定した平らな場所に本体を設置してください。
- ・専用ACアダプタを本体に接続してください。
- ・トランシーバー接続用ケーブルを、トランシーバーのイヤホンマイク端子と本体の外部入力端子に接続してください。
- ・トランシーバーの充電アダプターおよび充電台を、本体の対応端子に接続してください。
- ・設定ファイルが保存されているTFカードを、TFカードスロットに挿入してください。
※設定手順については「11～15ページ」を参照してください。

2.電源を入れる

- ・基地局の電源ボタンを押して起動します。
- ・電源が入るとLEDが青く点灯し、液晶ディスプレイが起動します。
- ・起動時に「ピープ音」とともに画面に「TF Card not mounted」と表示された場合は、いったん電源を切り、TFカードを抜き差ししたうえで、再度電源ボタンを押してください。
- ・正常に起動すると、「MinamiCareWork」のロゴが表示されます。その後、トランシーバーの電源を入れてください。
- ・トランシーバーの音量は、目安として中央（1/2）程度に設定してください。
- ・電源投入後、約30秒でスタンバイ状態となり、使用可能になります。

3.センサの接続と確認

- ・基地局とセンサをペアリング（接続設定）します。一度ペアリングを行えば、通常は再設定の必要はありません。
※ペアリングの手順については「19ページ」を参照してください。
- ・ペアリングが完了したら、センサを実際に作動させてください。
基地局から通知音が鳴るか、液晶ディスプレイに対応する画像が表示されるかをご確認ください。
- ・通知音や表示される画像が、センサの種類と一致しない場合は、TFカード内に保存されている設定ファイルの内容を確認してください。
- ・通知音の音量は、ボリュームつまみで調整できます。

4.トランシーバーとの接続確認（※トランシーバー使用時のみ）

- ・トランシーバー接続用ケーブルが、トランシーバーのイヤホンマイク端子と基地局の外部入力端子に正しく接続されているか確認してください。
- ・トランシーバーの電源がONになっていることを確認してください。
- ・トランシーバーの音量が中央（1/2程度）に設定されているか確認してください。
- ・送信側と受信側のトランシーバーが同一チャンネルに設定されていることを確認してください。
- ・続いて、ペアリング済みのセンサを作動させてください。
本体が感知情報を受信すると、接続されたトランシーバーが自動で通話状態になります。
- ・受信側のトランシーバーから通知音が聞こえることを確認してください。
通知音が聞こえない場合は、送信側・受信側のチャンネルが一致しているかをご確認ください。
- ・通知音が確認できたら、受信側のトランシーバーの通話ボタンを押して、実際に何か話しかけてみてください。
- ・基地局のスピーカーから通話音が再生された後、本体の液晶画面に「通話中」と表示されることを確認してください。
※「通話中」の表示は、音声の再生開始から遅れて表示されます。
- ・もし画像が表示されない、音声がかきこえない、音が小さい場合は、基地局に接続しているトランシーバーの音量を上げてください。※トランシーバーの音量が小さい場合、センサからの通知音が受信側のトランシーバーに届かず、通知機能が正常に動作しない恐れがあります。
- ・本体のプッシュトークボタンを押しながら、マイクに向かって話しかけてください。
受信側のトランシーバーで音声がかきこえることを確認してください。

6.2 通常使用時動作

- ・センサが反応すると、本体から音声通知が再生されると同時に、画面に情報が表示されます。
- ・トランシーバーを接続して使用する場合、通知内容は音声として他の受信側トランシーバーに送信されます。
- ・必要に応じて、プッシュトークボタンを押しながら通話することができます。

6.3 通知画面

- ・センサが感知すると、液晶ディスプレイに以下のような画像が表示され、通知音が鳴ります。



呼び出しボタン
通知音 「ドアセンサ」



人感センサ
通知音 「人感センサ」



ドアセンサ
通知音 「ドアセンサ」



センサーマット
通知音 「センサーマット」



見守りカメラ
通知音 「見守りカメラ」



識別番号 (1～25)
通知音は5種類のセンサから選択

6.4 警告通知

特定の状況下では、液晶ディスプレイに以下のような警告画像が表示され、警告音が鳴動することがあります。



トランシーバー電源OFF警告

- ・ 基地局に接続されているトランシーバーの電源がOFFの状態になると、画面上に警告画像が表示され、同時に警告音が鳴ります。
- ・ このとき、30秒ごとに警告音が再生されます。
- ・ トランシーバーの電源がONにすると警告がOFFになります



通話中表示

- ・ 他のトランシーバーが通話中の場合、画面上に表示されます。
- ・ この間にセンサが反応しても、通知は行われません。

※会話から遅れて画面表示されますが故障ではありません。



発話中表示

- ・ 本体のプッシュトークボタンを押して発話しているとき、画面上に表示されます。
- ・ この間もセンサ通知は行われません。

※通話する時はプッシュトークボタンを押し続けてください。

プッシュトークボタンを押しても少し時間を置いてから画面表示されますが故障ではありません。



未設定センサ警告

- ・ ペ어링済みのセンサの紐づけが正しく設定されていない場合、画面上に警告画像が表示され、同時に警告音が鳴ります。
- ・ 設定ファイルの内容に誤りがないか確認してください。

6.5 メンテナンスモード

通常時の動作の他にメンテナンスモード機能があります。

※詳細な説明については「16ページ」を参照してください。

6.6 使用後の対応（長時間使わない場合）

- ・ 使用を終了する場合は、電源スイッチを押して基地局の電源を切ってください。
- ・ 基地局に接続しているトランシーバーの電源を切ってください。
- ・ ACアダプターや接続ケーブルを抜く際は、必ずコネクタ部を持って丁寧に扱ってください。
- ・ 長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、乾燥した場所に保管してください。
- ・ センサに装着されている単4形アルカリ乾電池も、取り外してください。

7. 基地局の各種設定方法

7.1 SDカードについて

- ・本機は、SDカード内に保存された画像データや音声データなど各種データを参照して動作します。
そのため、SDカードが挿入されていない状態では本機は動作しません。

- ・本製品では、データ保存や設定バックアップのためにSDカードを使用します。

以下の条件を満たすカードをご使用ください。

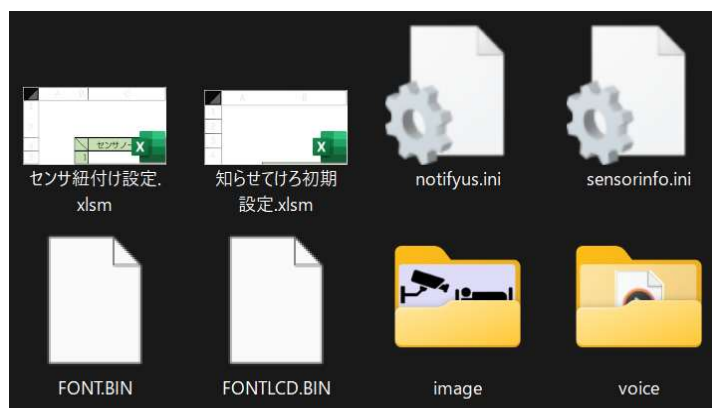
- ・対応カード種別：SD / SDHC
- ・最大対応容量：32GB
- ・推奨フォーマット：FAT32

※NTFS形式やexFAT形式には対応していません。

※「SD」、「SDHC」ロゴはSD-3C, LLCの登録商標です。

7.2 SDカードの構成

- ・SDカード内には、以下ファイルが格納されています。



センサ紐付け設定.xlsm

知らせてけろ初期設定.xml

notifyus.ini ファイル

sensorinfo.ini ファイル

FONT.BIN ファイル

FONTLCD.BIN ファイル

image フォルダ

voice フォルダ

センサと通知音を紐付ける設定を行うためのエクセルファイルです。

本機の初期設定を行うためのエクセルファイルです。

本機の挙動を制御する初期化設定ファイルです。

各センサノード番号と、対応する画像・音声ファイルを紐づける設定ファイルです。

日本語漢字表示用フォントデータを格納します。

LCD表示用日本語漢字フォントデータを格納します。

画像ファイル群（Windowsビットマップ形式）を格納します。

音声ファイル群（WAV形式）を格納します。

⚠ **ご注意：SDカード内のデータは絶対に削除しないでください。**
本機が正常に動作しなくなります。

💡 ご提案

万一のデータ破損や紛失に備え、バックアップ用のSDカードをご用意いただくことをおすすめします。

バックアップ方法

バックアップ用のSDカードには、元のSDカード内のすべてのデータをコピーしてください。

7.3 初期化ファイルの設定方法（Excelを使用する場合）

手順

- 1 SDカード内にある「知らせてけろ初期設定.xml」ファイルをExcelで開いてください。
- 2 以下のような設定画面が表示されます。

知らせてけろ本体初期設定

設定値	初期設定値	設定の内容	備考
40	80	LCDの輝度情報（0～100％）	0～100の数値をプルダウンリストから選択する。
NONE	NONE	WIFIのSSID 2Gのみ対応 5Gは不可	不使用の場合は「NONE」と入力する
NONE	NONE	WIFIのパスワード	不使用の場合は「NONE」と入力する
35	31	無線通信チャンネル	4chから選択 センサも同じチャンネルに合わせる。
1	1	満充電時の充電台リレー動作	0＝未使用 1＝使用
480	480	充電台リレー動作周期（分単位）60＝1時間	時間をプルダウンリストから選択する。
15	15	充電台リレー動作リレー制限時間60＝1時間	リレーの動作制限時間を設定する。 プルダウンリストで選択する。
1	1	トランシーバー電源監視機能	0＝未使用 1＝使用

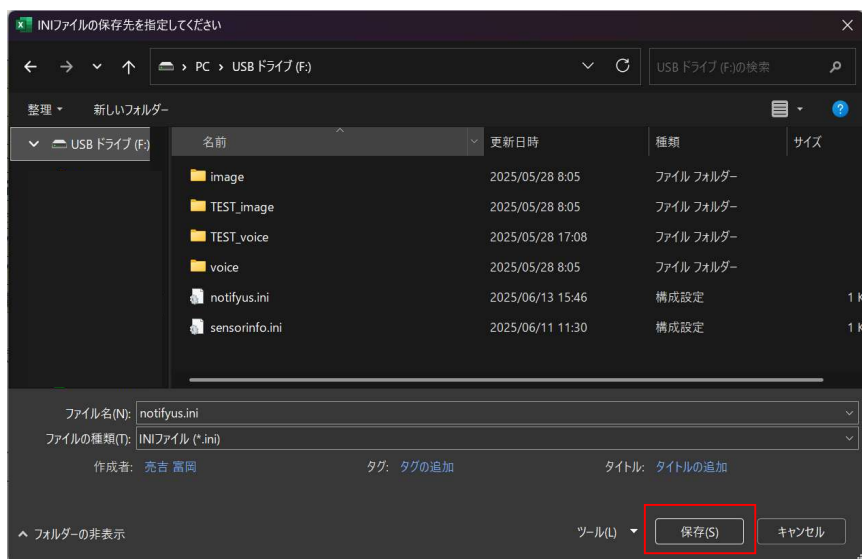
注意1. 設定値はプルダウンリストから選択してください。WIFI設定は半角英数字で入力してください。

注意2. 設定ファイルはSDカードの直下に保存してください。

設定ファイルを生成

3 左側の赤枠部分の設定値をプルダウンリストから選択し、Wi-Fi設定は半角英数字で入力します。

4 設定が完了したら、右側にある「設定ファイルを生成」ボタンをクリックしてください。



5 ファイルの保存先を確認するダイアログが表示されますので、SDカード直下のフォルダを指定してください。

6 「保存」ボタンをクリックして設定ファイルを保存します。

7 画面に「INIファイルが生成されました」が表示されます。

8 Excelを閉じるときは上書き保存してください。

※上書き保存を行う前に、現在の設定値を必ず控えておいてください。

7.4 初期化ファイルの設定方法（テキストエディタで設定する場合）

手順

- 1 SDカード内の notifyus.ini ファイルを、テキストエディタ（例：メモ帳）で開いてください。
- 2 下記のフォーマットでファイルが表示されますので、各行に必要な値を設定してください。

初期化情報フォーマット例 →

```
A0001
80
NONE
NONE
1
31
1
1
60
10
1
```

各行の設定項目と説明

項番	項目	初期値	説明
1行目	シリアル番号		本体の識別用シリアル番号です。 ※変更しないでください。
2行目	LCD輝度	80	表示画面の明るさ（0～100%） 値が大きいほど明るくなります。
3行目	Wi-Fi SSID	NONE	接続するWi-Fiネットワーク名。（使用しない場合は「NONE」を入力）
4行目	Wi-Fi パスワード	NONE	接続用パスワード。（使用しない場合は「NONE」を入力） ※Wi-Fi環境がある場合、待機時、液晶画面に現在時刻が表示されます。
5行目	無線通信モード	2	通常「2」に設定してください。その他の値に変更しないでください。
6行目	センサー無線チャンネル	31	無線通信チャンネルを設定します。選択可能な値は31,32,35,40です。 通常は「31」に設定してください。
7行目	無線ネットワークモード	1	通常「1」に設定してください。その他の値に変更しないでください。
8行目	満充電時の充電台リレー動作	1	無線機の満充電対策機能のON/OFFを設定します。 「1」＝定期的に充電電源をOFFにする機能を使用する 「0」＝無効
9行目	満充電時の充電台リレー動作周期	480	充電対策機能が有効な場合に、無線機の電源ON/OFFを切り替える 周期時間（分単位）を設定します。 60＝1時間
10行目	リレー動作制限と復帰時間	15	無線機に通知音を送る際、ハムノイズが混入するのを防ぐため、 一時的にリレーがOFFになります。その後、再びONになるまでの 遅延時間（分単位）を設定します。 60＝1時間
11行目	トランシーバー電源監視機能 （基地局の単独使用機能）	1	「1」＝監視ON（基地局連携運用） 「0」＝監視OFF（基地局単体運用）

- 3 編集後は、上書き保存してからSDカードに正しく保存されていることをご確認ください。

7.5 センサ紐付け設定方法（Excelを使用する場合）

手順

1 SDカード内に保存されている「センサ紐付け設定.xlsxm」ファイルをExcelで開いてください。

2 以下のような編集画面が表示されます。

①センサーノード番号	②表示画像	③識別番号	④センサの種類	⑤備考欄（センサー設置場所など）
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

⑥設定ファイル生成

紐付けファイル設定方法

手順1. 「①センサーノード番号」にセンサのIDを半角英数字で入力します。
手順2. 「②表示画像」をプルダウンリストから選択してください。
手順3. 「③識別番号」をプルダウンリストから選択してください。
手順4. 「④センサの種類」をプルダウンリストから選択してください。
手順5. 必要に応じて「⑤備考欄」に入力してください。
手順6. センサが複数ある場合は手順1～手順5まで繰り返してください。
手順7. 「⑥設定ファイル生成」を押して、紐付けファイルを保存してください。
注意 紐付けファイルはTFカード直下に上書き保存してください。
手順8. ファイルを上書き保存してExcelを終了してください。

入力方法

赤く囲まれたセルに対して、以下の内容を入力または選択してください。

①センサーノード番号 センサ機器の裏面に記載されている製品シールID（英数字4桁）を半角英数字で入力してください。

②表示画像 画面に表示する画像(識別番号もしくは設置するセンサの種類)をプルダウンリストから選択します。

③識別番号 通知音声の識別番号（1～25）をプルダウンから選択します。

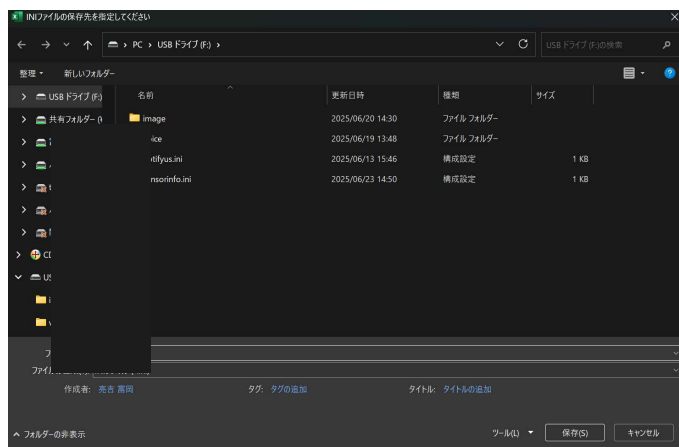
④センサの種類 設置するセンサの種類をプルダウンリストから選択します。

※表示・再生をしない設定すると処理をスキップします。

注意1 センサノード番号は重複しないように注意してください。

注意2 登録できるセンサの最大数は25台です。

3 入力が完了したら、右側にある「⑥設定ファイル生成」ボタンをクリックしてください。



4 ファイルの保存先を確認するダイアログが表示されますので、SDカード直下のフォルダを指定してください。

5 「保存」ボタンをクリックして設定ファイルを保存します。

6 画面に「INIファイルが生成されました」が表示されます。

7 Excelを閉じるときは上書き保存してください。

※上書き保存を行う前に、現在の設定値を必ず控えておいてください。

7.6 センサ紐付け設定方法（テキストエディタで設定する場合）

手順

- 1 SDカード内の sensorinfo.ini ファイルを、テキストエディタ（例：メモ帳）で開いてください。
- 2 下記のフォーマットでファイルが表示されますので、各行に必要な値を設定してください。

注意 最大25台のセンサまで登録可能です。

各センサの紐付け情報フォーマット



```
B285,3,6,3,0
B24B,1,5,1,0
B7AB,2,0,2,0
BA15,3,2,3,0
C578,1,4,1,0
C578,1,4,1,0
C578,1,4,1,0
C578,1,4,1,0
```

例： B285, 3, 6, 3, 0






 ① ② ③ ④ ⑤

項番	項目	説明
①	センサノード番号	センサ識別用番号 センサの銘版に記載されている4桁の英数字です。
②	表示画像番号	センサが反応した際に再生される通知画像ファイルの識別番号を設定します。 有効な範囲は「1～25、91～95」 ※0を設定すると画像は表示されません。 画像番号 対応するセンサの種類 1～25 識別番号画像 91 呼び出しボタン 92 人感センサ 93 ドアセンサ 94 センサーマット 95 見守りカメラ
③	識別番号	「1番」「2番」などの通知番号を再生する音声ファイルの識別番号を設定します。 有効な範囲は「1～25」※0を設定すると音声は再生されません。
④	センサ音声識別番号	センサが反応した際に再生される通知音声ファイルの識別番号を設定します。 有効な範囲は「1～5」 ※0を設定すると音声は再生されません。 音声番号 対応するセンサの種類 1 呼び出しボタン 2 人感センサ 3 ドアセンサ 4 センサーマット 5 見守りカメラ
⑤	予備	未使用（常に0）

※②～④の識別番号が「0」の場合は、その処理はスキップされます。

3 編集後は、上書き保存してからSDカードに正しく保存されていることをご確認ください。

7.7メンテナンスモードについて

本機には、通常の運用モードとは別に「**メンテナンスモード**」が用意されています。
起動時は自動的に運用モードで立ち上がりますが、下記の手順でメンテナンスモードに切り替えることができます。

■ メンテナンスモードへの切り替え方法

運用モード中、LCD画面の中央付近を一度タッチしてください（初期化リセット用）。

その後、以下の順番で画面の四隅をタッチします：

①→②→③→④→⑤（⑤は2～3秒の**長押し**）

※ タッチの間隔に時間制限はありませんが、順番が重要です。

※ 一度でも順番を間違えると無効となるため、最初からやり直してください。

※ 順番が分からなくなった場合は、①～⑤以外の場所を一度タッチしてリセットしてください。

☆メンテナンスモード遷移方法

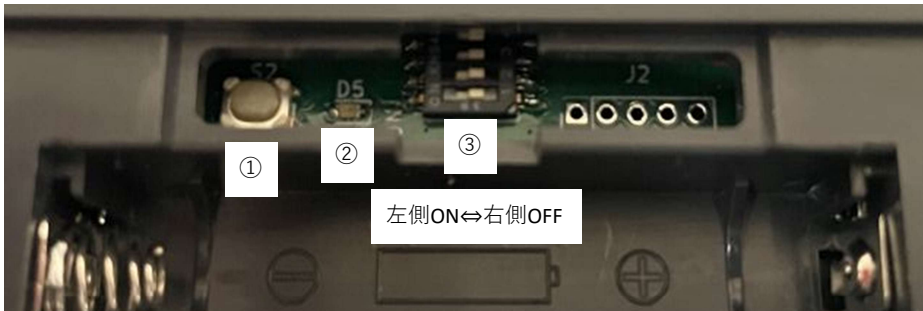


メニュー名	説明
再起動	本機を再起動します。
GN発行	センサの登録モードを起動します。
SD挿抜	SDカードを安全に取り外せる状態にします。 戻る際に内容を自動チェックし、異常があると警告音を鳴らします。
SD画像	SDカード内の画像ファイル一覧を表示します。
SD音声	SDカード内の音声ファイル一覧を表示します。
CREDIT	クレジット（開発者情報など）を表示します。

8. センサの各種設定方法

8.1 登録用プッシュスイッチと構成部品

センサ本体の電池収納スペース上部には、以下の構成が配置されています。



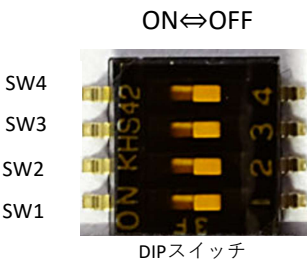
番号	名称	説明
①	登録用プッシュスイッチ	センサを基地局に登録する際に使用します。
②	ステータス表示用LED	センサの状態（起動・登録モードなど）を点滅/点灯で表示します。
③	設定切替用DIPスイッチ	センサの動作モードなどを切り替えるためのスイッチです（左＝ON、右＝OFF）。

8.2 DIPスイッチによる設定

本製品には、各種動作設定を行うためのDIPスイッチ（以下、SW）が搭載されています。
このDIPスイッチは、本体底面に配置されており、下側から順に「SW1」～「SW4」の4つで構成されています。
スイッチの状態は、本体正面から見て左側が「ON」、右側が「OFF」となります。
スイッチは先が細い棒で横にスライドして切り替えてください。

スイッチ初期設定

スイッチ番号	設定値
SW1	OFF
SW2	OFF
SW3	OFF
SW4	OFF



8.3DIPスイッチ設定内容

DIPスイッチ（SW1～SW4）は、各種設定を行うための機能スイッチです。

下記のように、それぞれのスイッチが特定の設定に対応しています。

△ **スイッチ設定を変更する際は、必ず乾電池を取り外した状態で行ってください。**

電池が装着されたまま操作すると、設定が正しく反映されない恐れがあります。

①SW1・SW2：送信チャンネル設定

SW1とSW2の組み合わせにより、無線送信チャンネルを切り替えることができます。

SW1の状態	SW2の状態	送信チャンネル
OFF	OFF	31ch
ON	OFF	32ch
OFF	ON	35ch
ON	ON	40ch

②SW3：感知LED ON/OFF切替

センサ感知時のLED表示の有無を制御できます。目立たせたくない環境での運用時には、OFFに設定してください。

SW3の状態	感知LED動作
ON	点灯する
OFF	点灯しない

③SW4：感知論理切替（※ドアスイッチ・センサマット専用）

センサのスイッチが「通電」または「遮断」されたタイミングで、感知情報を基地局へ送信します。使用するセンサの種類に応じて、以下のように切り替えてください。

SW4の状態	感知送信タイミング
ON	スイッチが 遮断 された時に送信
OFF	スイッチが 通電 された時に送信

8.4 基地局へのセンサ登録手順

△ センサを登録する際は、送信チャンネルを必ず基地局と同一チャンネルに設定してください。

登録作業は以下の手順で行います

- 1.基地局をメンテナンスモードに切り替え、「GN発行」（16ページ参照）を選択します。
⇒ 基地局がセンサ登録受付モードになります。
- 2.センサに乾電池を装着します。
⇒ ステータスLED（②）が数回点滅したあとに消灯することを確認してください。
⇒ 点滅が続く場合は、一度電池を取り外して再装着してください。
- 3.電池を取り外し、登録用プッシュスイッチ（①）を押しながら再度電池を装着します。
4. ステータスLED（②）が2回点灯したら、プッシュスイッチ（①）を離します。
- 5.LED（②）が約2秒間隔で点滅を開始したら、センサは登録モードに移行しています。
- 6.点滅が終了し、LEDが点灯状態になれば登録完了です。
- 7.登録が完了したら、一度電池を取り外し、再度装着して通常動作に戻します。

8.5 センサの設定内容を消去する手順

△ 一度登録されたセンサを再登録する場合は、既存の設定をすべて消去する必要があります。

以下の手順に従って、センサ内部の登録情報をリセットしてください。

- 1.登録用プッシュスイッチ①を押したまま、乾電池を装着します。
2. ステータスLED②が2回点灯した時点で、スイッチ①を離します。
- 3.LED②が2秒間隔で点滅を確認します。
4. スイッチ①を再び長押しし、LED②が連続点滅するまで押し続けます(約3秒間)。
- 5.スイッチ①を一度離し、再度長押しします。
⇒ LED②が0.5秒に1回の点滅状態になるまで押し続けます（約3秒間）。
- 6.スイッチ①を再び離し、もう一度長押しします。
⇒ LED②が4回点滅を繰り返すまで押し続けます（約3秒間）。
- 7.既存の設定データが消去されます。一度電池を取り外し、再装着してから基地局へ再登録を行ってください。

8.6ステータスLEDによる状態表示

センサの状態は、LED②の点灯・点滅によって視覚的に表示されます。
以下の表に各状態の内容を示します。

表示番号	LEDの状態	センサ状態の説明
①	短い周期で点滅	センサが正常に動作していません。乾電池を再装着してください。
②	2秒間隔で点滅	センサが登録モードにあります。
③	点灯	センサが基地局に正常に登録されている状態です。
④	一瞬点灯	センサが人などを感知した際に瞬間的に点灯します。
⑤	消灯	感知待機中の通常状態です。

9.製品仕様

9.1基地局

材質・外形・寸法	<p>材質：アルミ、ABS/ 色：シルバー</p> <p>寸法：W:175mm×H:140mm×D:72mm</p> <p>重さ：約600 g（本体のみ）</p>
電源仕様	<p>電源定格電圧：DC 5 V</p> <p>定格電流：2 A</p> <p>消費電力（最大）：1.85W</p> <p>電源タイプ：外部DC入力（付属ACアダプタ）</p> <p>コネクタ仕様：EIAJ電圧区分2</p> <p>極性：+センター</p>
付属ACアダプタ仕様	<p>入力電圧：100V-240V / 50/60Hz /23VA 出力: 5V / 2 A</p>
無線機能	<p>無線規格：920MHz帯 特定小電力無線（ARIB STD-T108準拠）</p> <p>周波数：920.6MHz 920.8MHz 921.4MHz 922.4MHz(ARIB 単位チャンネル番号31,32,35,40)</p> <p>通信方式：単信（送信・受信）</p> <p>送信出力：10mW</p> <p>アンテナ：屋内用外部アンテナ</p> <p>見通し送信距離：50m以上</p> <p>証明（認証）種別：工事設計承認</p> <p>認証番号:005-102581</p> <p>接続センサ数：25台</p>
Wi-Fi・Bluetooth	<p>無線機能詳細：Wi-Fi(802.11b/g/n)2.4GHz</p> <p>証明（認証）種別：工事設計承認</p> <p>認証番号:217-204070</p>
使用温度	<p>-10℃～50℃（結露、氷結しないこと）</p> <p>※但し無線機充電機能を使用する場合は充電器の充電温度の範囲になります。</p>
credit	<ul style="list-style-type: none"> ・ TFT_eSPI library Copyright (c) 2023 Bodmer. ・ Adafruit_GFX library Copyright (c) 2012 ・ Adafruit Industries. All rights reserved. ・ VOICEVOX Copyright (c) 2021 ・ VOICEVOX:四国めたん ・ Howling-Indicator https://howlingindicator.net

9.2各種センサ

材質・外形・寸法	<p>材質：ABS/ 色：ホワイト</p> <p>寸法：W:69mm×H:115mm×D:19.5mm（突起部分を除く）</p> <p>重さ：約110g（本体のみ）</p>
電源仕様	<p>電源定格電圧：DC 3 V</p> <p>電源タイプ：単 4 形アルカリ乾電池×2本</p>
無線機能	<p>無線規格：920MHz 帯 特定小電力無線（ARIB STD-T108準拠）</p> <p>周波数：920.6MHz 920.8MHz 921.4MHz 922.4MHz(ARIB 単位チャンネル番号31,32,35,40)</p> <p>通信方式：単信（送信・受信）</p> <p>送信出力：10mW</p> <p>アンテナ：屋内用外部アンテナ</p> <p>見通し送信距離：50m以上</p> <p>証明（認証）種別：工事設計承認</p> <p>認証番号:005-102581</p>
各センサ仕様	<p>人感センサ</p> <p>検出距離：背景との温度差が8℃以上最大 7 m 背景との温度差が4℃以上最大 5 m</p> <p>検出対象の条件：移動スピードは1.0m/s 検出対象は人体を想定</p> <p>検出範囲：水平方向90°（±45°） 垂直方向90°（±45°）</p> <p>検出ゾーン：32本</p> <p>センサマット</p> <p>寸法：W432mm×H585mm×D 5 mm</p> <p>重さ：800 g</p> <p>リード線：2芯1.8m</p> <p>外装色：ライトグレー</p> <p>動作力：約40N（押圧面Φ40平面） 約150N（押圧面Φ80平面）</p> <p>ドアスイッチ</p> <p>寸法：W33.5mm×H14.5mm×D8.5mm（センサ本体のみ取り付けブラケットは除く）</p> <p>リード線：200mm</p> <p>感知間隔：20mm以下</p>
使用温度	-10℃～50℃（結露、氷結しないこと）

9.3中継器

材質・外形・寸法	<p>材質：ABS/ 色：ホワイト</p> <p>寸法：W:69mm×H:115mm×D:19.5mm（突起部分・アンテナを除く）</p> <p>重さ：約110g（本体のみ）</p>
電源仕様	<p>電源定格電圧：DC 3 V</p> <p>定格電流：2 A</p> <p>電源タイプ：外部DC入力（付属ACアダプタ）</p> <p>コネクタ仕様：2.1mm標準DCジャック</p> <p>極性：＋センター</p>
付属ACアダプタ仕様	<p>入力電圧：100V-240V / 50/60Hz /14VA—23VA 出力: 3 V / 2 A</p>
無線機能	<p>無線規格：920MHz帯 特定小電力無線（ARIB STD-T108準拠）</p> <p>周波数：920.6MHz 920.8MHz 921.4MHz 922.4MHz(ARIB 単位チャンネル番号31,32,35,40)</p> <p>通信方式：単信（送信・受信）</p> <p>送信出力：10mW</p> <p>アンテナ：屋内用外部アンテナ</p> <p>見通し送信距離：50m以上</p> <p>証明（認証）種別：工事設計承認</p> <p>認証番号:005-102581</p>
使用温度	<p>-10℃～50℃（結露、氷結しないこと）</p>

10.故障かな・・・？と思ったら

電源が入りません

- ・付属のACアダプタが、コンセントや本体から外れていないか確認してください。
- ・電源ボタンが押されているか確認してください。

電源を入れると警告音と「INI file error」と画面に表示される。

- ・設定ファイルが正しく設定されているか確認してください。

電源を入れると警告音と「TF card not mounted」と画面に表示される。

- ・SDカードが奥まで差し込まれていることを確認してください。

センサを動作させても本体やトランシーバーに通知がこない。

- ・センサの電池残量があることを確認してください。
- ・センサを作動させた時に感知LEDが点灯するか確認してください。
感知LED表示がOFFの場合はONに設定してから確認してください。
- ・基地局とセンサのペアリングがされているか確認してください。
- ・基地局の確実に受信できる距離で動作させて音声通知がくるか確認してください。
- ・音声ボリュームが最小になっていないか確認してください。
- ・基地局とトランシーバーを接続するケーブルが接続されているか確認してください。
- ・トランシーバーの電源がONかつボリュームが1/2以上になっていることを確認してください。
- ・センサと基地局の送信チャンネルが同じか確認してください。
- ・センサの紐づけ設定が正しく設定されているか確認してください。

他者のトランシーバーの音が聞こえない

- ・基地局に接続されているトランシーバーが正しく接続されているか確認してください。
- ・トランシーバーの電源がONかつボリュームが1/2以上になっていることを確認してください。
- ・基地局の音声ボリュームが最小になっていないか確認してください。

プッシュトークボタンを押しても送信できない、声が小さい

- ・基地局に接続されているトランシーバーが正しく接続されているか確認してください。
- ・トランシーバーの電源がONかつボリュームが1/2以上になっていることを確認してください。
- ・基地局内蔵マイクに近づいて話してください。
- ・発話中の途中でプッシュトークボタンを戻していないか確認してください。

トランシーバーのバッテリーが切れてしまう。

- ・トランシーバーの充電器と充電台に接続するケーブルが基地局に接続されているか確認してください。
- ・トランシーバーの充電器がコンセントに接続されているか確認してください。
- ・SDカード内の設定ファイルが正しく設定されているか確認してください。

11.お問い合わせについて

本製品に関するご質問、ご相談、不具合などがございましたら、下記までお問い合わせください。

【販売元・製造元】

株式会社ミナミ

〒039-2241

青森県八戸市市川町桔梗野上19-82

TEL: 080-2006-8885

FAX: 0178-38-1566

E-mail: support@care-work.info

website: <https://care-work.info/>

【メールフォームでのお問い合わせ先】

製品の不具合やご相談については、下記メールフォームからお問い合わせいただけます。



<https://care-work.info/#contact>

【受付時間】

平日：9:00～17:00（土日祝・年末年始を除く）

※お問い合わせの際は、「製品名」「型番」「ご購入日」「症状の内容」などをお知らせください。

※メール・フォームでのお問い合わせには、原則2営業日以内にご返信いたします。